

IV 地域保健課の業務概要

地域保健課の業務は、保健師関係指導事業、母子保健事業、成人・老人保健事業、総合的な自殺対策推進事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業及び精神保健福祉事業を主要業務として、管内市町及び関係機関と連携を図りながら事業を推進している。

1 保健師関係指導事業

保健師は、企画課・地域保健課・疾病対策課・成田支所に配属され、センター内各種保健指導業務の他、市町保健活動に対して、各種会議や連絡会等で計画・評価の支援を行っている。

また、保健活動の推進を図り、市町保健従事者の充実に努めるとともに、管内看護管理者研修会の開催、印旛郡市保健指導者研究会等への支援、管内保健師現任教育連絡会、管内新任期及び中堅期・管理期保健師研修会を開催し、資質の向上を図っている。

(1) 管内概況

管内の保健師就業数は、保健所に18人（副センター長1人、企画課1人、地域保健課6人、疾病対策課6人、成田支所4人）であり、市町村保健師は、平成30年4月1日現在179人（新規採用者11人）である。市町で保健衛生関係に従事する者は123人、福祉に25人、介護保険に23人、その8人となっている。

表1－(1) 管内保健師就業状況（平成30年4月1日現在）

(単位：人)

区 分 年 度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
平成 28 年度	186	19	108	32	21	6
平成 29 年度	194	18	120	31	18	7
平成 30 年度	197	18	123	25	23	8
成田市	30	—	19	6	4	1
佐倉市	38	—	29	6	1	2
四街道市	19	—	14	1	3	1
八街市	17	—	13	0	4	0
印西市	27	—	18	3	3	3
白井市	20	—	13	4	3	0
富里市	13	—	9	2	2	0
酒々井町	8	—	6	0	1	1
栄町	7	—	2	3	2	0

(2) 保健所保健師活動

地域保健法の施行により対人サービスの多くは住民に身近な市町村が実施しており、保健所保健師は、広域的・専門的な活動を中心に事業を実施し、市町村や関係機関と連携を取りながら支援活動を展開している。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況（平成31年3月31日現在）

(単位：件)

種別	区分		訪問以外の保健指導				個別の連携 ・連絡調整
	家庭訪問		面接		電話	メール	
	実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数（再掲：会議）
総数	345	551	1262	1330	4300	255	579(0)
感染症	65	72	52	86	495	0	292(0)
結核	241	430	46	70	1389	218	129(0)
精神障害	5	8	5	5	34	1	10(0)
長期療養児	14	14	102	105	182	0	58(0)
難病	16	21	841	848	1445	36	47(2)
生活習慣病	0	0	0	0	1	0	0
その他の疾病	0	0	27	27	51	0	0
妊産婦	0	0	0	0	0	0	0
低出生体重児	0	0	0	0	0	0	0
（未熟児）	0	0	0	0	0	0	0
乳幼児	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	6	189	189	703	0	43(0)
訪問延世帯数	342	547					

(3) 保健師関係研修（研究）会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1－(3)－ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員 (人)
平成30年 5月21日	各市町が新しい情報を取り入れ、地域に責任を持ち地域	<ul style="list-style-type: none"> ・事業検討「予防接種について」 ・予防接種事故、肺炎球菌、インフルエンザ、子どもの予防接種等について 	16
平成30年 7月19日	域の特性に応じた効果的な保健活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事業検討「予防接種について」 ・定期予防接種予診票統一について 	16
平成30年 8月20日	の推進を目指す	<p>1 講演会</p> <p>(1) 「いのちの電話相談員としてみなさんに伝えたいこと～身近に自死を経験した立場から～」 千葉いのちの電話自死遺族支援スタッフ 藤乗洋子氏</p> <p>(2) 「自殺対策の動向と千葉県の自殺対策について」 千葉県健康福祉部健康づくり支援課自殺対策班 須藤照生氏</p> <p>2 事業検討：自殺予防について 自殺対策の取り組み、自殺未遂者への対応について、関係機関との連携状況について、自殺対策に関する計画について等</p>	23
平成30年 10月10日		<p>1 上映会 「1000年後の未来へ～3.11 保健師の証言～」</p> <p>2 事業検討：災害対策について 災害発生時の組織体制について、災害マニュアルについて、平常時の取り組み、準備について等</p>	25
平成30年 11月5日		<p>1 講演会：「行動変容が促せる面接法 ～さまざまな保健指導の場面での活用～」</p> <p>2 事業検討：特定保健指導について 特定健診・特定保健指導の実施について 第3期における特定保健指導の運用等の見直しについて、実施率の向上、未利用者への対応等</p>	17
平成31年 1月15日		<p>1 事業検討：がん検診について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業について ・精度管理について 	16
平成31年 2月7日		<p>1 講演会 「育てにくさを感じる母親への支援について」 講師 あきやま子どもクリニック 秋山千枝子先生</p> <p>2 事業検討：子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産包括支援事業について 	43

イ 所内保健師研究会

表1-(3)-イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員 (人)
平成30年 5月28日	1 現任教育について 2 本年度の活動について 3 その他 業務研究について他	16
平成30年 11月8日	1 現任教育について 2 復命研修について 3 業務研究について	16
平成31年 3月11日	1 現任教育まとめについて 2 現任教育 キャリアラダーについて 3 現任教育の次年度計画について 4 「保健活動・保健事業」計画書について	11

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表1-(3)-ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
平成30年 7月20日	「困難な事例に円滑に対応するために～初回対応時に心がけること」 ちば心理教育研究所所長 光元和憲氏 参加者から事例を提出し、講師からスーパーバイズをもらう形式で 事例検討を実施。	18

エ その他

表1-(3)-エ その他

開催年月日	主 な 内 容	参加人員 (人)
平成30年 7月4日	第1回管内保健師現任教育連絡会 1 管内新任期保健師等合同講義・情報交換会の実施結果について 2 平成30年度管内新任期(1～3年目)保健師及び中堅期保健師研修会 の企画について 3 保健師現任教育の現状と課題について (1)現任教育体制について (2)現任教育、保健師定例会の評価方法等について (3)現任教育の一環としての事例検討の実施について	13
平成31年 3月11日	第2回管内保健師現任教育連絡会 1 管内保健師現任教育の現状と今後の取り組みについて (1)平成30年度現任教育研修会参加状況について (2)平成31年度管内新任期・中堅期保健師研修会の計画について 2 保健師現任教育の現状と課題について	12

平成30年 4月24日	第1回管内新任期保健師研修会 1 講義 管内地域の概況及び健康福祉センター業務 について 講師 センター長、副センター長、各課長 2 交流会	12
平成31年 3月13日	第2回管内新任期保健師研修会 講義「個別支援能力を身につけるために事例検討に取り組もう～住民に 寄り添う支援のために～」 講師 カウンセリングルーム Proche 所長 齋藤由美氏	13
平成31年 3月8日	管内中堅期保健師研修会 講義「ソーシャルキャピタルを活用した保健活動の実践」 講師 千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 教授 佐藤紀子氏	15
平成30年 11月21日	業務研究集録原稿提出に向けての検討会 助言者 千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 准教授 雨宮有子氏	16
平成31年 1月21日	印旛郡市保健指導者研究会三部合同研究会 講演 「これだけは知っておきたい外国人相談の基礎知識 ～外国人ママ・パパの子育てを支えるために～」 講師 (公財) かながわ国際交流財団 富本潤子氏	55

(4) 管内看護管理者研修会

表1－(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主な内容	参加人員
平成30年 10月29日	講演「あなたの、私のモチベーションを高めるための組織・環境づくり」 講師 西武文理大学看護学部 客員教授 北浦暁子氏	40

2 母子保健事業

広域的・専門的な取り組みとして、母子保健事業の充実を図るため、管内専門医療機関・市町との連絡会議を開催し、育児支援の充実に努めている。

長期療養児療育指導として、専門相談や講演会等を実施し、災害時支援を含めた療養支援の充実を図っている。

思春期保健事業として、系統的・継続的な性(命の)教育推進のため、関係者と児童・生徒を対象とした講演会を実施し支援している。平成16年度から不妊相談センターを開設している。

(1) 母子保健推進協議会

母子保健分野における問題点について、管内市町・医師会・関係医療機関・児童相談所・学校保健関係者等の代表者から構成される協議会を開催している。協議会の開催に先立ち、母子保健班長会議を開催し、管内市町の情報交換を行っている。

表2- (1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
平成31年2月28日	25	1:講演「産後ケア推進の中で、産後うつ予防を支援していく上で大切な視点について」 講師 めぐみこころのクリニック 院長 朴 恵榮氏 2:議事 ア 産後うつ予防で課題と感じていること イ 他機関と連携していく上での課題 ウ 産後うつ予防のために必要な取組

(2) 産後ケア連絡調整会議

産後ケア事業等にかかわる関係機関と市町間の連携体制の構築や情報共有を図ること等により、市町が産後ケア事業等を実施するための体制整備を推進することを目的とし、既存の会議の中で検討する機会をもった。

表2- (2) 産後ケア連絡調整会議実施状況

開催年月日	参加者数・職種	主な協議内容
平成30年7月27日	18人 医師、看護師、MSW 市町保健師	妊産婦支援体制について 1 糖尿病妊婦の管理体制 2 産後うつへの対応、産後ケア実施体制 3 多産ケースの家族支援他 ※平成30年度妊産婦・乳幼児等支援連絡会と同時開催
平成31年2月28日	25人 医師、看護師、助産師、MSW、事務職 (市町課長) 保健師	1 産後うつ予防で課題と感じていること 2 他機関と連携していく上での課題 3 産後うつ予防のために必要な取組 ※平成30年度母子保健推進協議会と同時開催

(5) 特定不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）対象者に、千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱に基づく経費の助成を平成17年1月から開始している。

平成28年1月20日以降に治療を終了した方に対して、男性不妊治療費をも助成対象となり15万円まで助成。初回の助成は30万円まで拡充された。

平成28年4月1日から新制度が完全施行となり、対象年齢、助成回数が変更となった。

ア 特定不妊治療費助成制度事業

表2－(5)－ア 特定不妊治療費助成実施状況

(単位：件)

年度・市町村	件数		延件数内訳			
	実件数	延件数	体外受精	顕微授精	男性不妊	その他
平成28年度	385	638	118	294	1(6)	225
平成29年度	430	707	142	298	3(7)	264
平成30年度	362	567	130	211	2(3)	224
成田市	92	134	36	57	0(1)	41
佐倉市	71	124	30	37	1(0)	56
四街道市	40	68	16	22	0(1)	30
八街市	21	27	14	8	0(0)	5
印西市	76	118	20	45	1(0)	52
白井市	29	47	5	17	0(1)	25
富里市	20	30	7	15	0(0)	8
酒々井町	11	17	1	10	0(0)	6
栄町	2	2	1	0	0(0)	1

※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である。

イ 不妊専門相談センター事業

表2－(5)－イ－(ア) 不妊相談実施状況

年度	回数	相談者数(専門医)	相談者数(保健師等)	
			随時	
平成28年度	5	13		15
平成29年度	4	10	随時	17
平成30年度	6	19		26

表2－(5)－イ－(イ) 不妊講演会実施状況

開催年月日	内容	対象	参加者数
今年度実施なし			

(7) 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

小児慢性特定疾患児童等の保護者の不安の軽減を図ることを目的とし、患者家族同士の情報交換の場として講演会・交流会を開催している。また、医療的ケアの必要な児が、安心して在宅療養生活に移行することができるよう、同疾患の患者家族と交流する機会を設けた。少数疾患の18トリソミーについては、実際に訪問し、在宅での療養生活の実際について情報交換できる場を設け不安の軽減につながった。

ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表2－(7)－ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

名 称	実 施 年 月 日	参加人数・内訳	内 容
長期療養児 交流会	平成30年 11月5日	患者家族24名、関係者12名 計36名 対象:小児慢性特定疾患受給中の気管切開及び人工呼吸器装着等の未就学児とその家族及び関係者	1-1 講話 下志津病院のレスパイト利用について 講師 下志津病院 主任児童指導員 高原 和恵 氏 1-2 講話 下志津病院の通園について 講師 下志津病院 医療社会事業専門員川口由紀子 氏 2 保育士によるレクリエーション 下志津病院 保育士 3 交流会 助言者 下志津病院職員 4 スヌーズレン体験
18トリソミー 症候群交流支 援事業	平成31年 2月20日	患者家族3名、 児1名	障害児を実際に在宅でみているお宅に訪問し、人工呼吸器の回路交換、吸引、胃瘻、導尿などの処置を見せていただき、退院後の生活がどのようなものか理解する。

イ 療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表2－(7)－イ 療育相談指導内容（単位：人）

内 容	平成29年度	平成30年度
相 談 者 数（延）	2	8
家 庭 看 護 指 導	2	2
食 事 ・ 栄 養 指 導	1	5
歯 科 保 健 指 導	1	3
福 祉 制 度 の 紹 介	2	3
精 神 的 支 援	2	4
学 校 と の 連 絡	1	3
家 族 会 等 の 紹 介	1	2
そ の 他	-	1

ウ 訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表2-(7)-ウ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位:件)

疾患名	平成29年度	平成30年度
総数	13	10
気管狭窄	3	1
慢性呼吸器疾患	2	2
気管支拡張症	1	-
慢性肺疾患	1	-
白血病	1	1
18トリソミー	-	1
多発性嚢胞腎	-	1
若年性特発性関節炎	1	-
點頭てんかん	1	-
強直性筋ジストロフィー	1	1
乳児重症ミオクローニてんかん	1	-
ダウン症候群	1	3

エ 窓口相談事業

表2-(7)-エ 相談内容 (単位:人)

内容	平成29年度	平成30年度
相談者数(延)	169	105
申請等	139	72
医療	9	16
家庭看護	13	7
福祉制度	4	2
就労	1	-
就学	-	-
食事・栄養	-	-
歯科	-	-
その他	8	8

オ 訪問相談員派遣事業

表2-(7)-オ 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人数	回数	実人員	延人員
平成29年度	4	4	4	4
平成30年度	1	1	1	1

(8) 療育の給付制度

療育医療（児童福祉法第20条）は、長期の療養を必要とする18歳未満の結核治療のために入院を要する児童に対する医療給付及び学用品や日用品の支給を行うものだが、平成28年度、平成29年度、平成30年度と申請はなかった。

(9) 思春期保健相談事業

学校保健と地域保健の連携を深め、思春期保健の推進を図るため、学校関係者や行政保健師等を対象に講演会を実施した。

表2-(9)-ア 思春期保健関係者会議実施状況

名 称	開 催 年 月 日	参加者数・職種	内 容

表2-(9)-イ 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	対象者・参加者数	内 容
思春期保健講演会(関係者向け)	平成30年 8月17日	32名 養護教諭、教諭、 市町保健師他	「教育現場におけるLGBT（性的マイノリティ） の理解と対応」 講師：NPO法人JASH 日本性の健康協会 代表 前田 健太 氏
思春期保健講演会(関係者向け)	平成30年 7月25日	21名 養護教諭、教諭、 他	「養護教諭、学校教職員が行う学習指導要領に 沿った性の健康教育～子どもたちの人生を守る ために～」 講師：東京医療保健大学 医療保健学部 度會 睦子 教授
思春期保健講演会(児童向け)	平成31年 3月6日	42名 印西市立大森小 学校5年生、学校 長、養護教諭他	「大切ないのち」 講師：白井助産院 助産師 白井 祐子 氏

(10) その他会議や連絡会等

名 称	開催年月日	参加者数・職種	内 容
母子保健班長会議	平成30年 7月14日	15人 市町保健師	1 平成29年度母子保健事業実績と平成30年度事業計画について 2 妊娠・出産包括支援事業について（子育て包括支援センター取組状況、産婦健診、産後ケア事業、幼児健診の実施状況について） 3 新生児聴覚検査について
小児周産期連絡会	平成30年 1回目： 5月11日 2回目： 9月23日	1回目：39人 2回目：42人 医師、看護師、 市町保健師等	成田赤十字病院との連絡会 (1回目) 1 継続的な家族支援が必要な家庭の支援について 2 電話や紙媒体による情報共有の今後の方向性や取組について 3 NICU入院中の児の情報共有について (2回目) 医療的ケア児の在宅移行について 1 こども園入園に向けての関係機関の連携について 2 医療的ケア児の状況と支援体制強化について 3 ガイドラインや取組の紹介について 4 NICU入院中の児の情報共有について
妊産婦・乳幼児等支援連絡会	平成30年 7月27日	18人 医師、看護師、 MSW 市町保健師	東邦大学医療センター佐倉病院との連絡会 1 講演 「発達障害の診断、検査、治療について～親への関りのポイントフォロー体制、低出生体重児へのフォローを含めて～」(母子保健研修会として合同開催) 「熱性けいれん、てんかんとその関連疾患について」 2 妊産婦支援体制について(糖尿病妊婦の管理体制、産後うつへの対応、産後ケア実施体制、多産ケースの家族支援他)
印旛郡市妊娠糖尿病対策協議会	1 4月24日 2 10月30日 3 3月19日	1回目：7人 2回目：16人 3回目：10人	妊娠糖尿病の啓発や治療における問題点を各医療機関及び行政において共有し、妊娠糖尿病患者の教育及び療養を包括的に支援するため実態把握のアンケートの実施、啓発用のリーフレットを配布し周知した。(管内主要3病院医師と研究に参加同意の管内市町村保健師と共同で実施検討) 実施について、改善点はないか等確認する機会をもった。 ※主要3病院：成田赤十字、東邦佐倉、日本医科大

			学千葉北総の内分泌内科医師、産婦人科医医師 ※研究参加同意市町：成田市、佐倉市、四街道市、印西市、富里市、酒々井町、栄町の保健師
--	--	--	---

3 成人・老人保健事業

介護老人保健施設に対し、サービスの質の確保、入所者の尊厳の保持、高齢者虐待防止法の趣旨をふまえ、看護及び栄養面等の実地指導を行った。

がん検診の受診率向上のため、がん及びがん検診に関する知識の習得を目的に健康推進員等を対象とした講習会を開催した。

(1) 介護サービス施設・事業所設置状況

管内には、介護老人保健施設20施設・訪問看護ステーション25施設がある。

(地域資料編に記載のとおり)

ア 介護老人保健施設実地指導

千葉県老人保健施設実地指導要綱に基づき、5施設について実地指導を行った。

表3- (1) -ア 介護老人保健施設実地指導状況

実施年月日	介護老人保健施設
平成30年8月7日	公益財団法人 日産厚生会 佐倉ホワイエ
9月14日	医療法人社団 暁会 のぞみ
10月3日	医療法人 鳳生会 百寿苑
11月7日	医療法人社団 柏水会 ケアホーム白井
平成31年1月23日	医療法人 徳洲会 成田富里徳洲苑

(2) がん検診推進員育成講習会

各市町の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図る。

表3- (2) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
平成30年7月4日	30人	「胃がん検診の現状と将来」 講師 ちば県民保健予防財団 診療部診療科部長 兼胃部内視鏡読影班長 山口 和也 氏

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じ、的確な自己管理ができるよう、健康づくりの支援体制を充実することを目的としている。

(1) 健康教育事業

思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象に、性別やライフステージに応じた健康教室や講演会を開催した。

表4－(1) 健康教育事業

開催年月日	健康教室	参加人員
平成31年2月18日	「わたしたちどうやって生まれてきたの？」 講師 sora-いんぐ出張専門助産院しまもり 助産師 島森 孝恵 氏	111人

(2) 健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、電話相談に応じている。

表4－(2) 健康相談実施状況（電話）

(単位：件)

年度	区分		
	男	女	総数
平成28年度	38	68	106
平成29年度	128	75	203
平成30年度	57	72	129

5 総合的な自殺対策推進事業

平成28年に自殺対策基本法が改正され、すべての都道府県及び市町村が自殺対策計画を策定することとなった。地域に応じた対策を推進するため、研修会を実施するとともに、管内市町担当者会議を開催し、関係機関の連携を図った。

当センター開催の研修会等において啓発資料の配布や相談窓口の周知、精神保健福祉相談等を行った。

(1) 住民向け講演会・相談対象者向け研修会

表5－(1) 研修会の実施状況

名称	実施年月日	参加者数・職種	内容
市町村自殺対策計画策定に係る地域別勉強会	平成30年7月9日	12人 保健師、管理栄養士、精神保健福祉士等	管内市町の自殺対策計画策定の手引き、情報交換

自殺対策研修会	平成30年8月20日	21人 保健師、管理栄養士、精神保健福祉士等	1. 講演「いのちの電話相談員としてみなさんに伝えたいこと～身近に自死を経験した立場から～」 講師 千葉いのちの電話自死遺族支援スタッフ 藤乗 洋子 氏 2. 講演「自殺対策の動向と千葉県の自殺対策について」 講師 千葉県健康福祉部健康づくり支援課自殺対策班 須藤 照生 氏
---------	------------	---------------------------	--

(2) その他の会議等

表5- (2) 会議等の開催状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
管内自殺対策担当者会議	平成30年8月20日	21人 保健師、管理栄養士、精神保健福祉士等	議題 1 自殺対策の取り組みについて 2 自殺未遂者への対応について 3 関係機関との連携状況について 4 自殺対策に関する計画について

(3) その他の事業

ア うつ病連携パス

うつ病・うつ状態の方の早期発見・早期治療を目的とし、管内のかかりつけ医と精神科医の連携を促進できるような紹介状の様式と運用枠組みを定めた「うつ病連携パス」を作成し、平成25年12月より運用を開始している。

また、平成27年1月からは、行政等における専門職が受けた相談内容を記載する医療機関への情報提供書「相談内容連絡票」を導入した。

イ 自死遺族支援

千葉いのちの電話による、わかちあいの会ひだまりを年4回（偶数月）、個人対面相談を年4回（奇数月）、当センターを会場に開催した。

(ア) わかちあいの会ひだまり 延13人

(イ) 個人対面相談 延2人

6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の連携により、生活習慣病予防を中心とする各種保健事業の共同実施、地域保健関係施設等の相互活用等、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を推進する。平成 26 年度から平成 28 年度の 3 年間、「がんの早期発見・予防」をテーマに事業に取り組み、29 年度からは新たに「糖尿病重症化予防」をテーマとして掲げ、30 年度は作業部会 2 回と協議会 1 回、共同事業として健康教育を延べ 6 回開催した。

表 6－(1) 印旛地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成 31 年 1 月 22 日	34 人	(1) 健康ちば 21 (第 2 次) 中間評価について説明 (2) 平成 29 年度事業報告と 30 年度事業概要 (3) 糖尿病重症化予防に向けての取組みについて

表 6－(2) 印旛地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成 30 年 6 月 29 日	8 人	(1) 印旛地域・職域連携推進事業について (2) 平成 29 年度事業報告と平成 30 年度事業計画について (3) 平成 29 年度作成ポスター (印旛郡市がん検診案内) 配布状況及び啓発活動について (4) 今年度の取組み内容について
平成 30 年 11 月 21 日	14 人	(1) 今年度の進捗状況について (2) 提案事項と今後の方針について意見交換 (3) 今年度の協議会の進め方について

表 6－(3) 共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
平成 30 年 5 月 21 日	1 健康教育を延 6 回、延人数 399 名に実施した 佐倉商工会議所 「働き盛りの健康づくり重症化予防について」 成田労働基準協会 「結核と予防について」 東金労働基準協会 「結核と予防について」 成田労働基準協会 「自殺の現状と対策について」 東金労働基準協会 「自殺の現状と対策について」 千葉土建八街支部 「みなさんの健康づくり」
6 月 6 日	
6 月 8 日	
8 月 29 日	
8 月 30 日	
9 月 11 日	
	2 前年度までのテーマで作成した「印旛郡市がん検診案内チラシ」の継続作成、配布

7 栄養改善事業

印旛管内ではメタボリックシンドローム予備群が多く、急速な高齢化が進んでおり、今後、循環器疾患に罹患する者が増加することが予想される。このような状況を踏まえ、地域における健康づくり事業の推進や食生活改善推進員等の研修・各種栄養関係団体の育成・給食施設指導を行い、生活習慣病を予防し地域における健康づくりを推進した。

また、難病やアレルギー疾患の患者・家族等を対象にQOLの向上を図るため、講演会を開催した。

(1) 健康増進（栄養・運動等）事業

地域の健康課題を踏まえて、地域における健康づくり推進事業の推進、健康づくりの担い手である食生活改善推進員及び各種栄養関係団体の育成を図った。

また、病態栄養指導として、神経難病の患者とその家族に対する講演会及び食物アレルギー講演会を開催した。

表7－（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	(再掲)	(再掲)	運動指導	(再掲)	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲)	運動指導	(再掲)	休養指導	禁煙指導	その他
			病態別栄養指導	訪問による栄養指導		病態別運動指導					病態別栄養指導		病態別運動指導			
実施数	妊産婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乳幼児	1	—	—	/	/	/	/	—	—	—	/	/	/	/	—
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上 (妊産婦を除く)	101	1	—	—	—	—	2	—	115	100	—	—	—	40	—
(再掲)医療機関等へ委託	妊産婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乳幼児	—	—	—	/	/	/	/	—	—	—	/	/	/	/	—
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上 (妊産婦を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

参照（地域保健・健康増進事業報告作成要領）

ア 病態別個別指導

表7- (1) -ア 病態別個別指導状況

(単位：人)

区分 種別	計	生活 習慣病	難 病	アレルギー 疾 患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	1	—	—	—	—	1
病態別運動指導	—	—	—	—	—	—

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表7- (1) -イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名 称	開催年月日	対象者	参加数	内 容
食事とリハビリテーション勉強会	9月5日	神経難病患者とその家族	62人	(1)講演及び実演 「神経筋疾患の嚥下リハビリテーション」 講師 聖隷佐倉市民病院 リハビリテーション室 言語聴覚士 前田 暁子氏 (2)講演 「安心して食べられる食事のとり方・つくり方」 講師 聖隷佐倉市民病院 栄養科 管理栄養士 加藤純加氏
食物アレルギー教室	9月27日	食物アレルギー児(18歳未満)を持つ保護者、栄養士・調理員・養護教諭等の関係者	38人	(1)講演 「食物アレルギーの治療や対応の最新情報について」 講師 国立病院機構下志津病院 小児科・アレルギー科 医師 鈴木修一氏 (2)講演 「アレルギー電話相談における疾患特性」 講師 千葉県アレルギー相談センター 医師 永山洋子氏 (3)体験発表 「食物アレルギーの子育て体験から」 発表者 NPO 法人 千葉アレルギーネットワーク 理事 高橋小織氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表7- (1) -ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名 称	開催年月日	対象者	参加数	内 容
地域における健康づくり推進研修会	1月31日	行政保健師・栄養士、学校栄養教諭・栄養士等	15人	(1)講演「学齢期生活習慣病対策事業を通じた親子へのアプローチその意義と手法」 講師 和洋女子大学健康栄養学科 准教授 杉浦玲子氏 (2)事例発表「子育て世代(親)もターゲットにした小中学校での健康教育」 発表者 習志野市健康支援課 (3)情報提供「健康運動指導士会千葉県支部の活動について」 説明者 日本健康運動指導士会千葉県支部長

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表7－（1）－エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	佐倉市大崎台地区 18世帯52人	・平成30年11月14日 栄養摂取状況調査、生活習慣状況調査 ・平成30年11月15日 身体状況調査
	白井市今井地区 23世帯88人	・平成30年11月5日 栄養摂取状況調査、生活習慣状況調査 ・平成30年11月6日 身体状況調査

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7－（1）－オ－（ア）食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発（集団）		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容 （講習会等）
特別用途食品及び特定保健用食品について		－（－）	－（－）	－（－）	－（－）	
食品表示基準について （保健事項）	栄養成分	55	55	－	－	
	特定保健用食品	1	1	－	－	
	栄養機能食品	－	－	－	－	
	機能性表示食品	－	－	－	－	
	その他※	－	－	－	－	
健康増進法第31条第1項（虚偽誇大広告）		－	－	－	－	
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－	－	－	
		県民への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発（集団）		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容 （講習会等）	
特別用途食品及び特定保健用食品について		－（－）	－（－）	－（－）	－（－）	
食品表示基準について （保健事項）	栄養成分	－	－	－	－	
	特定保健用食品	－	－	－	－	
	栄養機能食品	－	－	－	－	
	機能性表示食品	－	－	－	－	
	その他※	－	－	－	－	
健康増進法第31条第1項（虚偽誇大広告）		－	－	－	－	
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－	－	－	

（ ）内は、特定保健用食品再掲

※ 栄養成分以外の内容だった場合（特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く）

表7－(1)－オ－(イ) 食品表示等に関する指導状況（表示違反への対応）

		指導状況（個別）	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について （保健事項）	栄養成分※	－（－）	－（－）
	機能性表示食品	－	－
	その他	－	－
健康増進法第31条第1項（虚偽誇大広告）		－	－
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む（ ）内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(ウ) 特別用途食品許可取り扱件数（単位：件）

内 容	取扱件数
新規許可申請受付	－（－）
消滅事由該当届出数	－（－）
申請・表示事項変更届出数	－（－）

（ ）内は、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(エ) 特別用途食品に対する検査・指導件数（単位：件）

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
－（－）	－（－）	－（－）

（ ）内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7－(1)－カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
国民健康・栄養調査結果返却に伴う普及啓発指導	107	－	－	－

(2) 給食施設指導

管内給食施設は年々増加傾向にあり施設総数が 354 施設となった。そのうち、195 施設に対して衛生管理及び栄養管理について食品衛生監視員と個別巡回指導を行った。

また、給食管理者及び従事者を対象に衛生管理を中心とした研修会と施設種別毎の研修会を開催して、給食管理、運営の向上を図った。

表 7- (2) 給食施設状況

(単位：件)

施設 総数	管理栄養士 のみ いる施設		管理栄養士 栄養士どちらも いる施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士 栄養士 どちらも いない施設	管理栄養士 必置指定 施設		調理師のい る施設		調理師 のいな い施設	栄養 成分 表示 施設	栄養 教育 実施 施設
	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	栄 養 士 数	施 設 数	栄 養 士 数		施 設 数	管 理 栄 養 士 数	施 設 数	調 理 師 数			
354	108	142	65	127	100	109	100	72	11	59	325	1,012	29	342	212

ア 給食施設指導状況

表 7- (2) -ア 給食施設指導状況

(単位：件)

区 分		計	特定給食施設		その他の 給食施設	
			1回300食 以上 又は 1日750食 以上	1回100食 以上 又は 1日250食 以上		
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	195	56	93	46
		その他指導施設数	272	38	154	80
	喫食者への栄養・運動指導延人員	-	-	-	-	
集団指導	給食管理指導	回 数	4	4		
		延 施 設 数	246	17	156	73
	喫食者への 栄養運動指導	回 数	-	-	-	-
		延 人 員	-	-	-	-

イ 給食施設個別巡回指導

表7-(2)-イ 給食施設個別巡回指導状況

	総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況								
			管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみ いる施設		どちらもいない 施設		
			施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	
合計	354	195	108	66	65	40	109	59	72	30	
指定施設①	計	11	11	1	1	10	10				
	学校										
	病院	10	10	1	1	9	9				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所	1	1			1	1				
	寄宿舍										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他											
300食/回, 750食/日以上 (指定施設を除く)②	計	64	45	38	28	5	5	18	11	3	1
	学校	53	38	34	26	4	4	15	8		
	病院	3	3	2	2	1	1				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設	1	1					1	1		
	社会福祉施設										
	事業所	7	3	2				2	2	3	1
	寄宿舍										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他											
100食/回, 250食/日以上 (①,②除く)	計	186	93	56	32	38	16	57	32	35	13
	学校	17	12	9	6			6	5	2	1
	病院	12	12	5	5	7	7				
	介護老人保健施設	17	7	6	5	11	2				
	老人福祉施設	33	11	16	5	16	5	1	1		
	児童福祉施設	69	34	17	8	3	2	36	19	13	5
	社会福祉施設	4	2					4	2		
	事業所	26	10	1				6	3	19	7
	寄宿舍	1	2		1			1	1		
	矯正施設	1								1	
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他	6	3	2	2	1		3	1			
その他の給食施設	計	93	46	13	5	12	9	34	16	34	16
	学校	2	2					2	2		
	病院	5	5	1	1	4	4				
	介護老人保健施設	2	1	1	1	1					
	老人福祉施設	14	7	5	2	4	3	5	2		
	児童福祉施設	38	20	1		2	2	19	8	16	10
	社会福祉施設	12	6	2	1	1		7	3	2	2
	事業所	11	2					1	1	10	1
	寄宿舍	6	1	2						4	1
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他	3	2	1						2	2	

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7-（2）-ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	16	13	87
指導数	30	21	28

エ 給食施設集団指導

表7-（2）-エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
給食施設管理者・従事者研修会 (児童福祉施設・事業所等)	平成30年 6月21日	学校・児童福祉施設・事業所・寄宿舎給食施設の管理者・従事者	84施設 103人 (内、4人は給食施設外)	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「給食施設の衛生管理」 講師 印旛健康福祉センター 食品機動監視課 食品衛生監視員 ・講話「管内給食施設の栄養課題について-平成29年度給食施設巡回指導結果及び栄養管理状況報告書結果から-」 講師 印旛健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員
給食施設管理者・従事者研修会 (病院・福祉施設等)	平成30年 6月22日	病院・介護老人保健施設・老人福祉施設・社会福祉施設・矯正施設・その他給食施設の管理者・従事者	84施設 106人	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「給食施設の衛生管理」 講師 印旛健康福祉センター 食品機動監視課 食品衛生監視員 ・講話「管内給食施設の栄養課題について-平成29年度給食施設巡回指導結果及び栄養管理状況報告書結果から-」 講師 印旛健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員
給食施設従事者研修会	平成30年 9月12日	成人を対象とする給食施設 (病院、介護老人保健施設、事業所等)	59施設 62人	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 「管内住民の栄養課題と管内給食施設の栄養管理」 説明 印旛健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員 ・講演「給食でおいしい減塩-献立・調理の工夫-」 講師 淑徳大学 看護栄養学部 栄養学科 教授 桑原節子氏 ・グループ討議 「当施設で減塩を進めるために」
事業所給食施設研修会 (印旛郡市集団給食管理者協議会と共催)	平成31年 2月6日	事業所、事業所系寄宿舎、管内集団給食管理者協議会加入施設	19施設 35人	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「社員の健康増進と企業経営」 講師 専修大学ネットワーク情報学部 准教授 河野敏鑑氏 ・講話「社員の健康診断結果の把握と給食運営への反映」 説明 印旛健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員 ・事例発表「社員の健康増進を目指した給食運営」 発表者 ホテル日航成田 総務人事部 ・グループ討議 「社員の健康増進のための取組と課題」

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7- (3) -ア 健康ちば協力店登録状況

平成30年度登録件数			累計状況	
登録件数	変更件数	取消件数	登録累計数	実登録店舗数
4	0	0	28 (内取消7)	21

表7- (3) -イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区 分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回 数	延人員	回 数	延店舗数	延人員	回 数	延人員
個別指導	-	-	-	-	-	174	174
集団指導	1	500	0	0	0	0	0
合 計	1	500	0	0	0	174	174

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7- (4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名 称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
印旛保健所管内食生活改善協議会	216人	住民の健康と福祉の増進、組織相互の連絡	総会・役員会の出席、研修会開催支援	68人
印旛郡市集団給食管理者協議会	29施設	総会、研修会、役員会	総会・役員会の出席、研修会開催支援	75人
印旛保健所管内栄養士会	80人	会員の資質の向上、会員相互の親睦	総会・役員会の出席、研修会の開催支援	102人
印旛保健所管内調理師会	32人	会員の資質の向上、食生活向上への寄与	総会出席、調理師大会の出席	20人

(5) 市町村への技術・助言支援等

表7- (5) -ア 市町村への技術支援、助言

名 称	開催月日	対象者	参加者数	内 容
印旛郡市保健指導者研究会栄養士部会役員会	平成30年 5月14日 7月2日 11月12日 平成31年 2月4日	栄養士部会 役員	各4人	栄養士部会年間の運営について 研究会企画・部会予算について 部会予算・次年度計画について 部会報告書(決算・実績)について

表7－(5)－イ 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
印旛郡市保健指導者研究会 栄養士部会	4回	87人	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回(6月11日) (1)業務検討「平成30年度栄養士業務について」 (2)講演「味覚教育について」 ●第2回(8月20日) (1)業務検討 「離乳食指導に関する取り組みについて」 (2)講演 「血清脂質が下がらない方への支援方法について」 ●第3回(12月10日) (1)業務検討「成人保健事業について」 (2)講演「糖尿病重症化予防のための食事について」 ●第4回(2月4日) (1)業務検討「管内市町の健康増進計画について」 (2)栄養士部会実施報告、次年度計画(案)について

※ 市町村(在宅)栄養士研修会を含む

(6) 調理師試験及び免許関係

表7－(6) 調理師試験及び免許取扱状況 (単位:名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成28年度	166	125	75.3	224	43	31
平成29年度	114	91	79.8	174	27	30
平成30年度	142	88	62.0	174	36	32

8 歯科保健事業

口腔保健に関する普及・啓発活動を印旛郡市歯科医師会、教育庁北総教育事務所等と連携し実施した。

(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表8- (1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
平成30年度 実施なし				

(2) その他 (各保健所の独自事業)

表8- (2) その他 (各保健所の独自事業)

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
歯と口の健康週間 審査会・表彰式	印旛郡市 在住 小中学生 等	平成30年6月7日	良い歯の表彰及び 歯科に関する作品の表彰 (主催) 印旛郡市歯科医師会 印旛保健所 千葉県教育庁北総教育事務所	198名
むし歯予防大会 (歯ッピーカミング フェア)	地域住民	平成30年10月28 日	・ 歯科医師・ 歯科衛生士による健診、相談 ・ 在宅介護、介護保険に関する相談 ・ 骨密度測定や健康相談 ・ がん検診推進、禁煙推進 (共催及び後援) 佐倉市教育委員会 印旛保健所 佐倉地区医師会 佐倉市薬剤師・	健康相談 35名 スモーカー ライザー 27名

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員、看護師、保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所、警察等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

(1) 管内精神科病院と入院等の状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部改正で、平成26年4月から保護者制度の廃止とともに、医療保護入院制度の見直しが図られている。

表9－(1)－ア 管内病床数・入院患者の状況（平成30年6月30日現在）（単位:件）

区分 年度 市町村	管内人口（人）	精神科病院数（ヶ所）	病床数（床）	人口万対病床数（床）	県内病院への入院患者数（人）	人口万対入院患者数（人）	管内の患者の入院先（再掲）					
							圏内の病院への入院患者数				圏外の病院への入院患者数	
							管内病院		管外病院			
							人	%	人	%	人	%
平成28年度	712,026	6	1,520	21.3	1,086	15.3	680	62.6	0	0.0	406	37.4
平成29年度	713,989	6	1,520	21.3	1,057	14.8	680	64.3	0	0.0	377	35.7
平成30年度	716,045	6	1,520	21.2	1,024	14.3	618	60.4	0	0.0	406	39.6
成田市	132,805	4	1,005	75.7	216	16.3	186	86.1	0	0.0	30	13.9
佐倉市	171,676	0	0	0.0	262	15.3	123	46.9	0	0.0	139	53.1
四街道市	91,387	0	0	0.0	84	9.2	31	36.9	0	0.0	53	63.1
八街市	68,570	1	180	26.3	129	18.8	89	69.0	0	0.0	40	31.0
印西市	98,085	1	335	34.2	133	13.6	78	58.6	0	0.0	55	41.4
白井市	62,355	0	0	0.0	70	11.2	8	11.4	0	0.0	62	88.6
富里市	49,985	0	0	0.0	73	14.6	59	80.8	0	0.0	14	19.2
酒々井町	20,672	0	0	0.0	29	14.0	22	75.9	0	0.0	7	24.1
栄町	20,510	0	0	0.0	28	13.7	22	78.6	0	0.0	6	21.4
県全体	6,267,917	52	12,397	19.8	8,878	14.2	5,960	67.1	589	6.6	2,329	26.2

(注) 1 人口は、各年7月1日現在。（千葉県毎月常住人口調査による）

表9－(1)－イ 管内病院からの届出等の状況

(単位：件)

種別 年度	医療保護入院届（家族等の同意）	応急入院届	医療保護入院届の退院届	措置症状消退届	措置入院定期病状報告書	医療保護入院定期病状報告	その他
平成28年度	517	6	500	49	20	491	15
平成29年度	508	0	493	62	14	481	14
平成30年度	584	0	565	68	5	462	20

※ その他は、転院許可申請(8)件、仮退院申請(6)件、再入院届(6)件の合計

(2) 措置入院関係

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、自傷他害のおそれのある精神障害者等の保護申請・通報・届出等への対応を行った。

表9－(2)－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況

(単位：件)

処 理 申請通報等の別	申請・通報届出件数	診察の必要がないと認められた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の移送業務		
			法第29条該当症状の者	その他の入院形態	通院・その他	法第29条の2該当症状の者	その他の入院形態	通院・その他	1次移送	2次移送	3次移送
平成28年度	426	352	61	3	2	22	3	5	0	1	32
平成29年度	325	259	56	3	4	8	0	3	0	0	36
平成30年度	265	195	63	0	4	13	2	1	0	1	39
法第22条 一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官からの通報	237	171	59	0	4	13	2	1	0	1	39
法第24条 検察官からの通報	6	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療機関管理者及び保護観察所長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

2 「法第29条の2該当症状の者」は、法第27条の診察を受けた者の内数

3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送

表9－(2)－イ 措置診察を受けた対象者の病名

(単位：件)

年度 結果	病名	総 数	統合失調症等	気分障害	器質性 精神障害		中毒性 精神障害			神経症性障害等	パーソナリティ障害	知的障害	てんかん	その他の精神障害	その他				
					認知症	その他	アルコール	覚せい剤	その他										
					F0		F1									F4	F6	F7	G40
					F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10	F15											
平成28年度	96	68	9	1	1	1	0	9	2	2	1	0	1	1					
平成29年度	76	60	6	4	4	1	1	0	1	1	0	0	0	1					
平成30年度	83	56	17	0	0	3	2	1	0	1	2	0	0	1					
診察 実施	要措置	76	52	16	0	0	3	2	1	0	0	2	0	0	0				
	不要措置	7	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1				

※1 緊急措置診察を実施した結果、措置不要となった者 3名

2 緊急措置入院中に措置解除となった者 0名

3 その他には病名不詳を含む。

4 F0～F9、G40は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表9－(2)－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（各年3月31日現在）（単位：人）

入院期間 年度	総数	6カ月未満	6カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成28年度	7	6	0	0	1
平成29年度	7	6	1	0	0
平成30年度	3	3	0	0	0

表9－(2)－エ 申請・通報・届出関係の相談等（各年3月31日現在）

(単位：人)

性・年齢 区分	実数	性			年 齢					延回数
		男	女	不明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不明	
相談	13	6	7	0	1	5	5	2	0	51
訪問	115	48	67	0	5	37	57	16	0	300
電話	266	121	145	0	14	106	110	36	0	2706

(3) 医療保護入院のための移送（法34条）

指定医の診察の結果、精神障害者であり、かつ直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図るうえで著しく支障が認められるものの、本人の治療同意が得られない場合、その家族等のうちいずれかの者の同意がある時は、医療保護入院をさせるために知事の権限で応急入院指定病院に移送することができる。

表9－（3）医療保護入院のための移送処理状況

（単位：件）

年度	区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成28年度		0	0	0
平成29年度		0	0	0
平成30年度		0	0	0

(4) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第47条に基づき、嘱託医による相談、精神保健福祉相談員・看護師・保健師による訪問、電話、来所、メールによる相談を実施している。また、国のガイドラインに基づき要件を満たす措置入院患者に対する退院後支援計画作成及び退院後支援を開始した。

表9－（4）－ア 精神科嘱託医による定例相談

実施日	時間	場所
毎月 第4 火曜日	14:00～16:00	健康福祉センター（保健所）
毎月 第3 月曜日	14:00～16:00	健康福祉センター（保健所）
毎月 第4 金曜日	14:00～16:00	健康福祉センター（保健所）
偶数月 第2 木曜日	10:00～12:00	健康福祉センター（保健所）

表9－(4)－イ 対象者の性・年齢

(単位：人)

性・年齢 区分	実数	性				年 齢				延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
平成28年度	282	146	134	2	18	89	135	34	6	665
平成29年度	225	119	103	3	9	82	88	37	9	523
平成30年度	241	124	115	2	9	76	112	35	9	534
成田市	36	20	16	0	2	13	15	5	1	103
佐倉市	78	36	41	1	3	22	38	13	2	167
四街道市	19	11	8	0	1	4	11	3	0	38
八街市	22	13	9	0	2	7	8	3	2	28
印西市	19	9	10	0	1	8	9	1	0	48
白井市	6	3	3	0	0	2	2	2	0	9
富里市	15	10	5	0	0	6	7	1	1	36
酒々井町	13	7	6	0	0	5	6	2	0	50
栄町	9	1	8	0	0	0	6	3	0	18
管外・不明	24	14	9	1	0	9	10	2	3	37
相談	173	89	82	2	6	57	79	24	7	341
訪問	68	35	33	0	3	19	33	11	2	193

※1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

2 電話相談は計上していない。

表9－(4)－ウ 電話・メール相談延件数

(単位：件)

	計	男性	女性	不明
電話	2935	1423	1458	54
メール	1	1	0	0

表9－(4)－エ 相談の種別 (延数)

(単位：件)

種別 区分	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談	
		診療に関する事	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚せい剤	その他の中毒								
平成28年度	665	218	28	83	249	15	1	1	0	0	50	4	11	0	5	
平成29年度	523	106	23	89	220	7	0	0	3	0	35	10	28	0	2	
平成30年度	534	138	54	134	112	7	0	1	0	0	37	7	17	0	27	
相談	計	341	92	13	95	59	7	0	1	0	0	34	4	11	0	25
	男	210	48	11	61	33	7	0	1	0	0	27	4	5	0	13
	女	129	44	2	33	26	0	0	0	0	0	7	0	6	0	11
	不明	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
訪問	計	193	46	41	39	53	0	0	0	0	0	3	3	6	0	2
	男	104	16	39	11	32	0	0	0	0	0	0	1	3	0	2
	女	89	30	2	28	21	0	0	0	0	0	3	2	3	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表9－(4)－オ 援助の内容 (延数)

(単位：件)

種別 年度	総数	医学的指導	受療援助	生活支援生活指導	社会復帰援助	紹介・連絡	方針協議 関係機関調整	その他
平成28年度	665	24	12	156	13	158	193	109
平成29年度	527	32	17	130	16	74	114	144
平成30年度	534	25	50	133	29	63	98	136

(注) 援助内容は重複あり

表9－(4)－カ 精神障害者の退院後支援相談対応件数

	支援計画対象者			
		本人同意あり	会議開催数	計画に基づく支援者
成田市	2	2	1	1
合計	2	2	1	1

(5) 精神障害者社会復帰関係

印旛健康福祉センターでは、デイケアクラブは廃止としピアサポーター養成を目的としたピアサポート講座を平成28年度より開催し、自助グループへの会場提供や運営支援を実施している。

表9－(5)－ア デイケアクラブ

実施日	時間	内容
開催なし		

表9－(5)－イ デイケアクラブの活動状況

(単位：人)

区分 年度	開催回数	参加者					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
平成28年度	開催なし						
平成29年度	開催なし						
平成30年度	開催なし						

表9－(5)－ウ 当事者支援の実施状況

(単位：人)

区分 年度	開催回数	参加者					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
平成28年度	6	68	36	32	152	93	59
平成29年後	5	27	15	12	48	30	18
平成30年度	4	30	15	15	68	41	27

(6) 地域精神保健福祉関係

平成 30 年度より開始された精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議を委託先と共催し、また、家族会支援として家族会交流会も実施した。市町支援として、市町の精神保健福祉担当者を対象とした研修会を 2 回実施した。

表 9 - (6) - ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数	対象者等
平成 30 年度管内市町精神保健福祉担当者研修会	平成 30 年 7 月 20 日	13 人	管内市町精神保健福祉担当者
平成 30 年度管内精神保健福祉関係機関担当者研修会	平成 30 年 10 月 3 日	22 人	管内関係機関職員
平成 30 年度精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議 (代表者会議)	平成 31 年 1 月 30 日	36 人	管内関係機関代表者

表 9 - (6) - イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数		内 容
		実件数	延件数	
家族会交流会	3 月 13 日	16	16	発達障害者の支援について

表 9 - (6) - ウ 組織育成

(単位：件)

種別 区分	総 数	家族会	断酒会	その他 (当事者グループ)
支援延件数	15	3	0	12

(7) 心神喪失者等医療観察法関係

平成 17 年 7 月施行の心神喪失者等医療観察法は、心神喪失または心神耗弱により重大な他害行為を行った者に対して適切な医療を提供し社会復帰を促進することを目的としており、入院及び通院処遇中に保護観察所からの要請で会議に出席し、訪問活動も実施している。

表 9 - (7) 医療観察法に係る会議への参加

(単位：件)

会議種別	CPA 会議	ケア会議	その他
参加回数	18	14	0

- ・平成 17 年から医療観察法が施行されたことに伴い、健康福祉センター (保健所) においても各種会議への参加等が求められている。
- ・「その他」は、CPA 会議 (Care Programme Approach の略) とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。

表10－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロン フリー
平成28年度	312	1	238
平成29年度	329	2	163
平成30年度	352	0	144
成田市	42	0	26
佐倉市	85	0	42
四街道市	47	0	12
八街市	40	0	14
印西市	56	0	10
白井市	37	0	12
富里市	21	0	16
酒々井町	14	0	8
栄町	10	0	4

11 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成30年12月から助成が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。

表11－(1) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 肝がん	重度肝硬変	総数
平成28年度	0	0	0
平成29年度	0	0	0
平成30年度	0	0	0

12 難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患（56 疾患）の患者に対し、医療費助成していたが、平成 27 年 1 月 1 日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）が施行され、厚生労働大臣の定める疾患に拡大された。

平成 29 年 4 月 1 日に 24 疾患が加わり、計 330 疾患が助成対象となった。また平成 29 年 12 月 31 日をもって経過措置が終了し、スモン等 4 疾患を除いた特定疾患治療研究事業の対象者が現制度へと統一された。平成 30 年 4 月 1 日にはさらに 1 疾患が追加、令和元年 7 月 1 日に 2 疾患が追加され、現在の対象疾患数は 333 である。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表 12 - (1) 特定疾患治療研究費受給者状況 (単位：件)

年度・市町村別 疾患名 下段：重症(内数)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
総 数	5	5	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0
5 スモン	5	5	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0
	5	5	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0

表 1 2 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況

(単位 : 件)

年度・市別 疾病名 下段:重症(内数)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
総 数	5,294	4,855	4,765	818	1,321	634	436	587	342	325	150	152
1 球脊髄性筋萎縮症	7 1	9 0	8 -	1 -	0 -	0 -	1 -	3 -	1 -	1 -	1 -	0 -
2 筋萎縮性側索硬化症	41 20	44 19	36 -	6 -	5 -	7 -	3 -	5 -	5 -	3 -	1 -	1 -
3 脊髄性筋萎縮症	4 4	5 2	5 -	1 -	4 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
5 進行性核上性麻痺	35 11	34 5	35 -	7 -	8 -	6 -	3 -	1 -	1 -	3 -	6 -	0 -
6 パーキンソン病	727 130	738 214	749 -	118 -	233 -	88 -	54 -	93 -	56 -	52 -	26 -	29 -
7 大脳皮質基底核変性症	18 5	19 3	21 -	4 -	4 -	8 -	1 -	1 -	1 -	1 -	0 -	1 -
8 ハンチントン病	5 1	7 0	7 -	0 -	1 -	3 -	0 -	0 -	1 -	1 -	1 -	0 -
10 シヤルコー・マリ ー・トゥース病	8 0	7 0	7 -	0 -	2 -	2 -	1 -	0 -	0 -	1 -	0 -	1 -
11 重症筋無力症	118 4	118 24	124 -	17 -	36 -	15 -	12 -	14 -	15 -	4 -	4 -	7 -
13 多発性硬化症／視 神経脊髄炎	101 23	87 38	93 -	16 -	27 -	10 -	7 -	18 -	6 -	4 -	2 -	3 -
14 慢性炎症性脱 髄性多発神経 炎／多巣性運 動ニューロパ チー	24 1	18 6	23 -	3 -	7 -	2 -	2 -	3 -	2 -	2 -	1 -	1 -
15 封入体筋炎	2 0	4 1	6 -	1 -	0 -	3 -	0 -	1 -	0 -	0 -	1 -	0 -
16 クロウ・深瀬症候群	0 0	0 0	1 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
17 多系統萎縮症	68 22	59 24	55 -	10 -	11 -	6 -	6 -	8 -	4 -	4 -	4 -	2 -
18 脊髄小脳変性症(多 系統萎縮症を除 く。)	182 85	180 26	176 -	25 -	57 -	25 -	19 -	15 -	9 -	20 -	5 -	1 -
19 ライソゾーム病	3 0	5 3	4 -	0 -	2 -	0 -	2 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

20	副腎白質ジストロフィー	1 0	1 0	1 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
21	ミトコンドリア病	6 3	5 1	3 -	2 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 -
22	もやもや病	97 18	62 3	60 -	14 -	14 -	7 -	6 -	7 -	6 -	3 -	2 -	1 -
23	プリオン病	2 2	1 1	2 -	0 -	2 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
26	HTLV-1 関連脊髄症	6 0	6 3	6 -	0 -	4 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 -	0 -
28	全身性アミロイドーシス	8 1	9 4	8 -	0 -	4 -	1 -	0 -	0 -	0 -	1 -	2 -	0 -
30	遠位型ミオパチー	1 0	0 0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
34	神経線維腫症	15 3	15 0	15 -	4 -	6 -	0 -	2 -	1 -	2 -	0 -	0 -	0 -
35	天疱瘡	22 1	14 1	13 -	1 -	3 -	1 -	1 -	3 -	1 -	1 -	0 -	2 -
36	表皮水疱症	2 0	1 0	2 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -
37	膿疱性乾癬（汎発型）	7 0	6 1	7 -	0 -	2 -	1 -	0 -	3 -	0 -	0 -	0 -	1 -
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2 0	2 1	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -
40	高安動脈炎	31 5	25 9	21 -	5 -	6 -	2 -	0 -	3 -	3 -	2 -	0 -	0 -
41	巨細胞性動脈炎	2 0	6 1	5 -	0 -	3 -	0 -	0 -	1 -	1 -	0 -	0 -	0 -
42	結節性多発動脈炎	12 1	13 4	11 -	4 -	3 -	0 -	0 -	1 -	2 -	0 -	1 -	0 -
43	顕微鏡的多発血管炎	43 1	41 11	41 -	10 -	10 -	8 -	5 -	2 -	3 -	2 -	1 -	0 -
44	好酸球多発血管炎性肉芽腫症	20 3	18 6	22 -	5 -	2 -	3 -	4 -	5 -	0 -	0 -	1 -	2 -
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	13 1	15 5	17 -	4 -	5 -	2 -	2 -	1 -	3 -	0 -	0 -	0 -
46	悪性関節リウマチ	34 13	33 17	27 -	7 -	2 -	3 -	3 -	7 -	1 -	4 -	0 -	0 -

47	バージャー病	30 2	18 2	16 -	5 -	5 -	1 -	0 -	0 -	3 -	1 -	0 -	1 -
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2 0	2 0	2 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 -	0 -
49	全身性エリテマトーデス	389 27	351 92	354 -	59 -	93 -	51 -	36 -	46 -	26 -	19 -	5 -	19 -
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	100 5	99 27	98 -	15 -	25 -	13 -	7 -	13 -	10 -	10 -	3 -	2 -
51	全身性強皮症	139 5	125 35	117 -	8 -	44 -	14 -	5 -	13 -	10 -	8 -	7 -	8 -
52	混合性結合組織病	68 3	63 18	56 -	11 -	12 -	9 -	9 -	6 -	4 -	3 -	2 -	0 -
53	シェーグレン症候群	19 0	26 5	31 -	4 -	8 -	7 -	2 -	3 -	3 -	1 -	2 -	1 -
54	成人スチル病	16 1	21 6	22 -	3 -	9 -	0 -	5 -	2 -	1 -	0 -	0 -	2 -
55	再発性多発軟骨炎	2 0	2 1	3 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 -	0 -	1 -
56	ベーチェット病	123 12	100 28	98 -	17 -	27 -	12 -	14 -	10 -	6 -	6 -	5 -	1 -
57	特発性拡張型心筋症	138 28	119 32	108 -	27 -	26 -	20 -	4 -	11 -	5 -	9 -	3 -	3 -
58	肥大型心筋症	13 3	10 2	11 -	0 -	4 -	3 -	2 -	0 -	2 -	0 -	0 -	0 -
60	再生不良性貧血	68 3	59 19	54 -	10 -	11 -	8 -	6 -	5 -	2 -	5 -	6 -	1 -
61	自己免疫性溶血性貧血	7 0	7 1	8 -	2 -	2 -	0 -	1 -	1 -	0 -	1 -	1 -	0 -
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0 0	0 0	2 -	1 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
63	特発性血小板減少性紫斑病	113 2	76 23	66 -	15 -	14 -	11 -	7 -	9 -	1 -	3 -	2 -	4 -
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1 0	1 0	1 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
65	原発性免疫不全症候群	11 1	12 5	12 -	3 -	4 -	1 -	1 -	0 -	0 -	3 -	0 -	0 -

66	IgA 腎症	48 1	57 4	50 -	7 -	23 -	7 -	4 -	4 -	4 -	0 -	1 -	0 -
67	多発性嚢胞腎	28 4	31 17	36 -	4 -	11 -	6 -	3 -	4 -	3 -	5 -	0 -	0 -
68	黄色靱帯骨化症	20 1	24 1	23 -	8 -	4 -	2 -	3 -	2 -	3 -	1 -	0 -	0 -
69	後縦靱帯骨化症	236 27	211 10	184 -	38 -	38 -	25 -	21 -	20 -	17 -	14 -	5 -	6 -
70	広範脊柱管狭窄症	41 9	43 3	33 -	6 -	6 -	6 -	1 -	5 -	3 -	4 -	2 -	0 -
71	特発性大腿骨頭壊死症	100 1	95 9	87 -	23 -	23 -	8 -	4 -	11 -	7 -	9 -	1 -	1 -
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	8 0	8 1	9 -	1 -	3 -	1 -	1 -	2 -	0 -	0 -	1 -	0 -
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	17 0	12 1	10 -	2 -	2 -	0 -	2 -	1 -	0 -	1 -	2 -	0 -
75	クッシング病	1 0	1 1	2 -	1 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20 0	21 5	18 -	4 -	6 -	2 -	2 -	2 -	2 -	0 -	0 -	0 -
78	下垂体前葉機能低下症	69 2	61 12	65 -	9 -	16 -	13 -	5 -	15 -	1 -	2 -	2 -	2 -
80	甲状腺ホルモン不応症	1 0	0 0	1 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	4 0	5 0	6 -	2 -	2 -	0 -	0 -	0 -	2 -	0 -	0 -	0 -
83	アジソン病	0 0	0 0	1 -	0 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
84	サルコイドーシス	96 9	60 3	56 -	10 -	18 -	3 -	9 -	7 -	2 -	4 -	2 -	1 -
85	特発性間質性肺炎	55 3	61 22	66 -	10 -	24 -	10 -	7 -	4 -	2 -	6 -	1 -	2 -
86	肺動脈性肺高血圧症	27 8	30 14	23 -	3 -	4 -	1 -	2 -	10 -	1 -	2 -	0 -	0 -
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	17 2	19 8	24 -	4 -	5 -	4 -	3 -	6 -	1 -	0 -	1 -	0 -

226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	4 0	5 0	6 -	1 -	2 -	2 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -
227	オスラー病	6 0	7 1	7 -	1 -	3 -	1 -	1 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0 0	1 0	1 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
230	肺胞低換気症候群	0 0	1 0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
236	偽性副甲状腺機能低下症	1 0	1 0	1 -	0 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
238	ビタミンD 抵抗性くる病/ 骨軟化症	0 0	0 0	1 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
240	フェニルケトン尿症	1 0	1 0	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	0 0	0 0	1 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
271	強直性脊椎炎	8 2	12 7	15 -	2 -	6 -	2 -	1 -	3 -	0 -	0 -	1 -	0 -
283	後天性赤芽球癆	4 0	4 2	3 -	1 -	0 -	0 -	0 -	2 -	0 -	0 -	0 -	0 -
285	ファンconi貧血	1 0	3 0	2 -	0 -	0 -	0 -	0 -	2 -	0 -	0 -	0 -	0 -
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0 0	0 0	1 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
292	総排泄腔外反症	1 0	1 0	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 -	0 -
296	胆道閉鎖症	1 0	1 0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
300	I g G 4 関連疾患	5 0	8 2	8 -	3 -	3 -	0 -	1 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0 -

306	好酸球性副鼻腔炎	31 1	46 4	58 -	8 -	18 -	4 -	10 -	8 -	3 -	1 -	3 -	3 -
330	先天性気管狭窄症/ 先天性声門下狭窄症	0 0	0 0	1 -	0 -	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
331	特発性多中心性キャ ッスルマン病	0 0	0 0	8 -	0 -	1 -	0 -	1 -	1 -	1 -	4 -	0 -	0 -

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表12-(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位:人)

年度	総数	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	酒々井町	栄町
平成28年度	20	5	5	3	3	3	0	0	0	1
平成29年度	17	4	3	3	3	3	0	0	0	1
平成30年度	20	4	3	3	4	3	1	0	0	2

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表12-(4)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位:人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
平成28年度	3	1	-	1	3	-	8	17
平成29年度	6	1	1	-	15	2	15	23
平成30年度	1	1	-	-	2	-	8	1

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表12-(4)-イ-(ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実人員	延人員
平成28年度	4	38	10	38
平成29年度	4	36	13	36
平成30年度	3	17	6	17

(イ) 訪問相談員育成事業

表 1 2 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
平成 28 年度	平成 29 年 2 月 2 日	医療費助成制度や神経難病、難病患者の心理等に関する講演	訪問相談員のほか、介護支援専門員等地域の支援者	82 人 ※内、相談員
平成 29 年度	平成 30 年 2 月 9 日	神経難病の緩和ケア、意思決定支援に関する講演	訪問相談員のほか、介護支援専門員等地域の支援者	77 人 ※内、相談員 1 名
平成 30 年度	平成 30 年 ① 10 月 18 日 ② 12 月 14 日 平成 31 年 ③ 1 月 18 日	① 神経難病患者のコミュニケーション支援 ② 在宅 ALS 患者さんを支える ③ 難病の医療費助成制度と療養支援、在宅 ALS 患者さんを支える	訪問相談員のほか、介護支援専門員等地域の支援者	① 69 人 ② 23 人 ③ 16 人

ウ 医療相談事業

表 1 2 - (4) - ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
H30. 7. 12	21 名	成田赤十字病院講堂	脊髄小脳変性症	第 1 回脊髄小脳変性症交流会 参加者交流会	9 人
H30. 8. 23	18 名	成田市保健福祉館	筋萎縮性側索硬化症	第 1 回筋萎縮性側索硬化症交流会 ① 防災に関する講演 県疾病対策課難病・アレルギー対策班 佐藤千織氏 ② 成田市笑医健康の会による講演 ② 参加者交流会 ALS 協会千葉県支部 川上純子氏、市川千津子氏	6 人
H30. 9. 5	62 名	印旛合同庁舎大会議室	脊髄小脳変性症、パーキンソン病等の神経難病	食事とリハビリテーション勉強会 (保健所 病態栄養事業と共催) ① 神経筋疾患の嚥下リハビリテーション 聖隷佐倉市民病院 言語聴覚士 前田暁子氏 ② 安心して食べられる食事の摂り方・作り方 聖隷佐倉市民病院 管理栄養士 加藤純加氏	5 人
H30. 11. 19	9 名	印旛保健所成田支所	網膜色素変性症	あなたの街で交流会 in 成田 (千葉県網膜色素変性症協会	2 人

				主催) 視覚障がい者のための交流サロン	
H30.11.29	29名	印旛合同庁舎 大会議室	脊髄小脳変性症	第2回脊髄小脳変性症交流会 ①自宅で出来る簡単リハビリ決定版 吉野内科・神経内科医院 理学療法士 江田真紀氏 言語聴覚士 飯村真紀氏 ②SCDリハビリ最前線 吉野内科・神経内科医院 理学療法士 浅川孝司氏 ③参加者交流会	8人
H31.1.23	13名	成田赤十字病院 講堂	筋萎縮性側索硬化症	第2回筋萎縮性側索硬化症交流会 印旛山武地域難病相談支援センターALS患者交流会（成田赤十字病院、山武健康福祉センターと共催） ①嚥下障害と食事の工夫 成田赤十字病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 柴田恒子氏 ②参加者交流会	10人

エ 訪問指導事業

表12-(4)-エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位:件)

疾患名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総数	49	56	25
全身性エリテマトーデス	1	-	-
筋萎縮性側索硬化症	23	33	16
脊髄小脳変性症	2	1	-
パーキンソン病	1	0	-
進行性核上性麻痺	2	-	1
多系統萎縮症	6	3	1
多発性硬化症/視神経脊髄炎	-	-	1
潰瘍性大腸炎	1	-	1
特発性拡張型心筋症	2	2	-
ハンチントン病	3	10	1
脊髄性筋萎縮症	1	-	-
ミトコンドリア病	1	-	-
クローン病	1	-	1
筋ジストロフィー	3	3	1
ウエスト症候群	1	-	-
大脳皮質基底核変性症	-	1	-
シェーグレン症候群	-	1	-
特発性血小板減少性紫斑病	-	2	-

類天疱瘡	-	-	1
特発性多中心性キャッスルマン病	-	-	1

オ 訪問診療等事業

表 1 2 - (4) - オ 訪問診療等事業実施状況 (単位：人)

区分 年度	指導人数		実施方法	従事者人数						
	実 人員	延 人員		専 門 医	主 治 医	看 護 師	理 学 療 法 士 等	保 健 師	そ の 他	
平成 28 年 度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 29 年 度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 30 年 度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 訪問リハビリテーションも含む。

カ 窓口相談事業

表 1 2 - (4) - カ 相談内容 (単位：人)

内 容	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相 談 者 数 (延)	1371	1543	848
申 請 等	1161	1342	708
医 療	24	101	104
家 庭 看 護	84	19	6
福 祉 制 度	58	36	19
就 労	3	2	-
就 学	-	1	-
食 事 ・ 栄 養	2	1	-
歯 科	-	-	-
そ の 他	39	41	11

キ 難病対策地域協議会

表 1 2 - (4) - キ 難病対策地域協議会実施状況

実施日	テーマ	構成員 (職種)	延人数	内容
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

1 3 市町村支援

管内市町の事業が、円滑な推進が図られるよう、市町健康づくり推進協議会等へ委員として参加し、事業計画・評価の支援を行っている。

また、精神保健福祉業務の支援としては、個別ケースへの同行訪問や相談同席、コンサルテーション等ケース処遇に関する支援と知識普及を目的とした研修、会議を実施した。

(1) 市町村への支援状況

表 1 3 - (1) 市町村への支援状況

項目 市町村	会 議 ・ 連 絡				技 術 的 支 援		
	会 議 名	回 数	職 種	主 な テ ー マ	事 業 名	回 数	職 種
成 田 市	成田市健康づくり推進協議会	2 回	課	成田市健康増進計画の進捗状況について			
	成田市健康・福祉まつり実行委員会	1 回	課	健康・福祉まつり実施計画について			
佐 倉 市	佐倉市 健やかまちづくり推進委員会	2 回	課	佐倉市健康増進計画「健康さくら 21」の進捗状況及び中間評価について			
四 街 道 市	四街道市 保健福祉審議会	1 回	次	四街道市歯と口腔の健康づくり推進条例（案）について			
八 街 市	八街市 健康づくり推進協議会	1 回	栄	健康増進課事業報告（見込み）及び事業計画（案）について			
印 西 市	印西市健康づくり推進協議会	3 回	課 保 栄	第 2 次健康いんざい 21～印西市健康増進・食育推進計画～について			
白 井 市	白井市健康づくり推進協議会	3 回	課	第 2 次しろい健康プラン自殺対策計画について			
	白井市栄養士連絡会	1 回	栄	食育推進事業実績報告及び取組み等について			
富 里 市	富里市健康づくり推進審議会	4 回	課 保	（仮称）富里市健康プランについて			
酒 々 井 町	酒々井町健康増進計画策定懇談会	2 回	課	酒々井町健康増進計画について			
栄 町	栄町健康づくり推進協議会	1 回	課	栄町健康増進計画について			

*職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）